

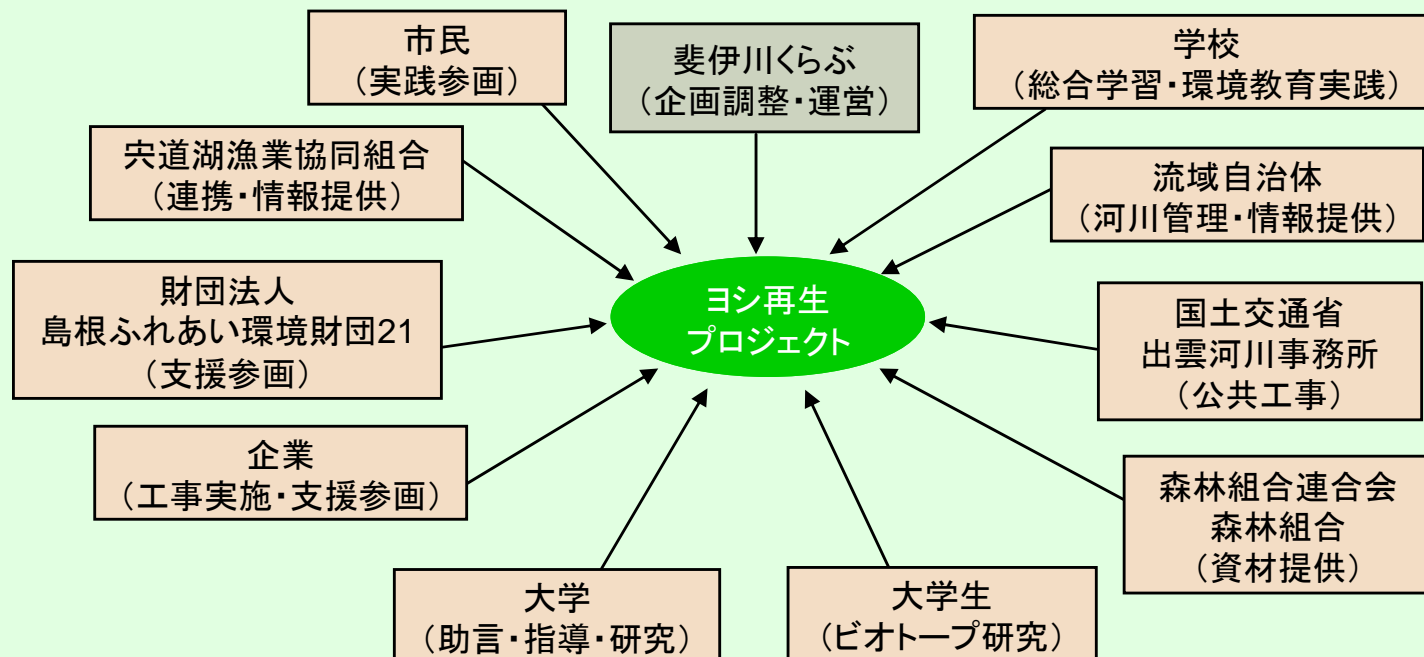
ヨシ再生プロジェクト

連携の状況

産官学民が一体となった協働組織「**宍道湖にヨシを呼び戻す市民の会**」で活動

- 企画調整、管理運営 ⇒ NPO斐伊川くらぶ
- 河川管理、情報提供 ⇒ 流域自治体
- 事業発注等 ⇒ 国土交通省出雲河川事務所
- ヨシの植栽 ⇒ 小中学校を中心とした市民

竹ポットや木工沈床などの原材料は上流域の間伐材を利用し、上下流の連携も考慮されている



ヨシ再生プロジェクト

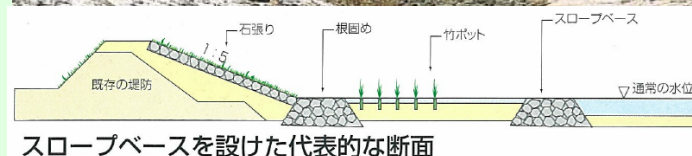
- ヨシ植栽用の竹ポットの活用や、木工沈床、消波沈床(粗朶沈床)などによって、宍道湖沿岸域の水環境復元を図っている。



竹ポットの据え付け

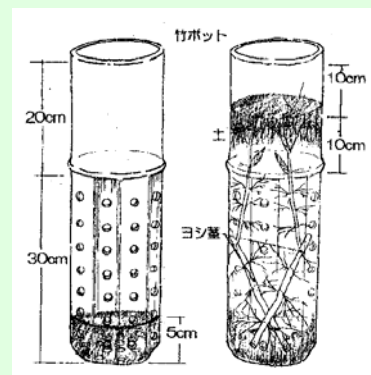


竹ポットに移植したヨシ



スロープベースを設けた代表的な断面

対策箇所の状況



竹ポットの構造図

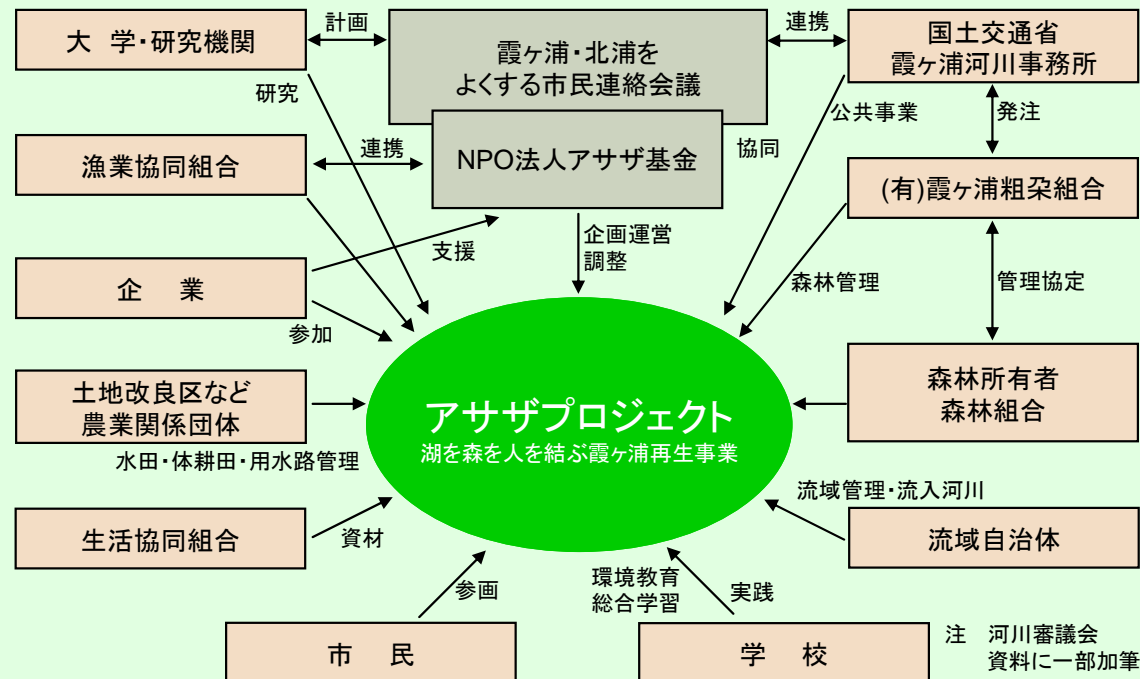
アサザプロジェクト

連携の状況

NPO「アサザ基金」が中心となり、以下のような活動を実施

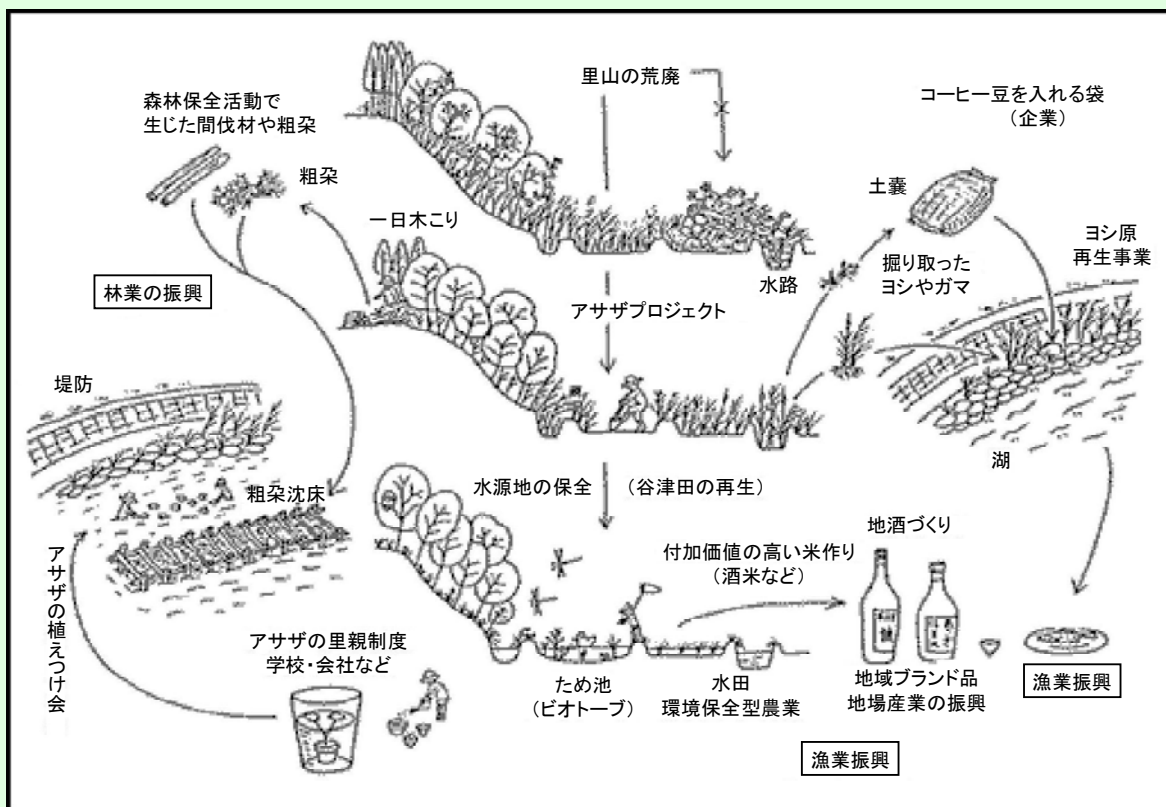
- ヨシ原再生、藻場再生 ⇒ 漁協
- 休耕田を利用したビオトープづくり ⇒ 農家
- 流入河川の自然復元事業 ⇒ 市町村、国土交通省
- 学校ビオトープの設置、環境教育 ⇒ 小学校(流域の9割以上が参加)
- 雑木林の管理(粗朶生産) ⇒ (有)霞ヶ浦粗朶組合、ボランティア

(有)霞ヶ浦粗朶組合は、アサザプロジェクトに参加している団体により設立されたもの



アサザプロジェクト

- 公募した「アサザの里親」による霞ヶ浦へのアサザ植付け事業を中心に、学校や企業が参加して、霞ヶ浦沿岸の水環境復元を図っている。



アサザ・プロジェクトのネットワーク



アサザの花



小学生によるアサザ植栽

諏訪湖

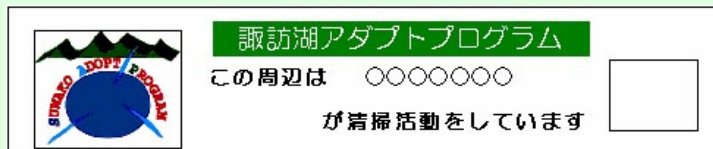
ゴミ問題への対策事例

諏訪湖アダプトプログラム

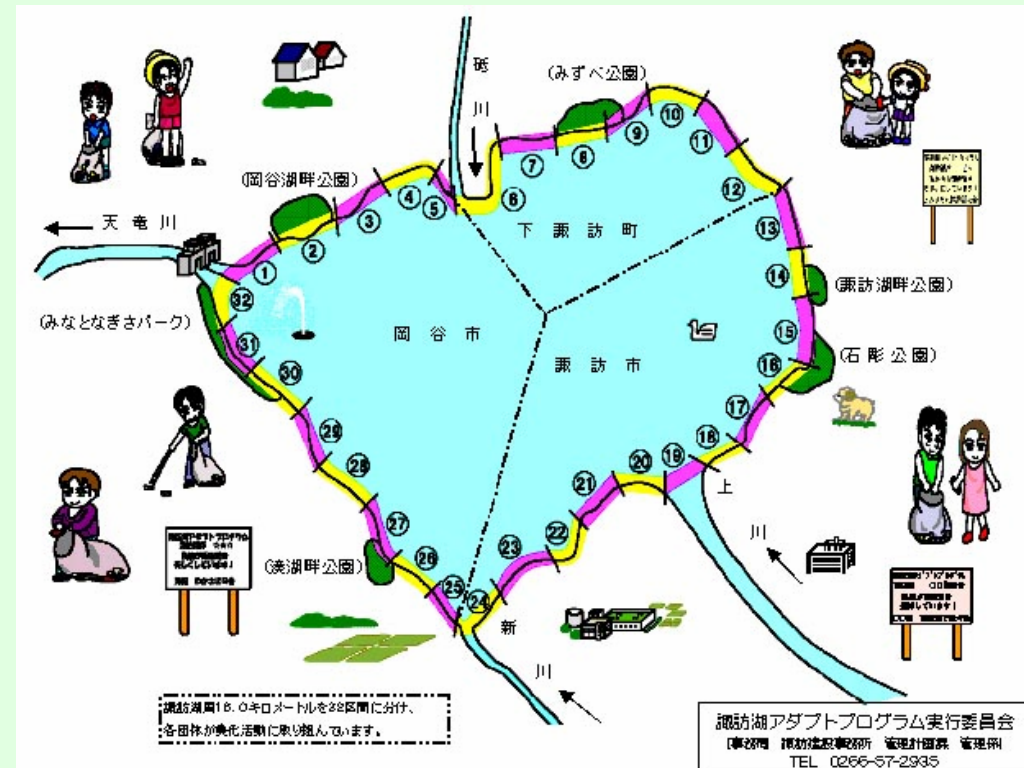
- 諏訪湖全周を32区間に分け、区間ごとに活動団体(住民・企業・団体)が行う**美化活動**を行政が支援している。



市民団体による美化活動の様子



事務局が設置する看板



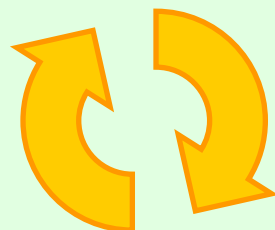
諏訪湖アダプトプログラム活動団体区画図

諏訪湖アダプトプログラム

連携の状況

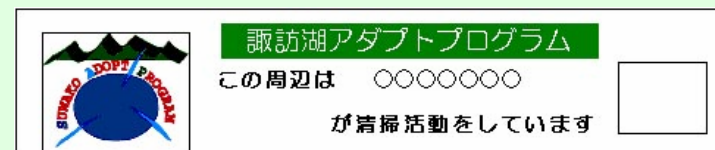
● 参加者(活動団体)の役割

- (1)概ね500mの湖岸を養子縁組します。(諏訪湖周全体で32区間)
- (2)契約期間は3年です。契約は更新できます。
- (3)各区間においては、年3回以上の清掃・美化活動を行います。
- (4)年間の活動計画や活動報告を事務局に提出します。



● 事務局(諏訪建設事務所 管理計画課 管理係)の役割

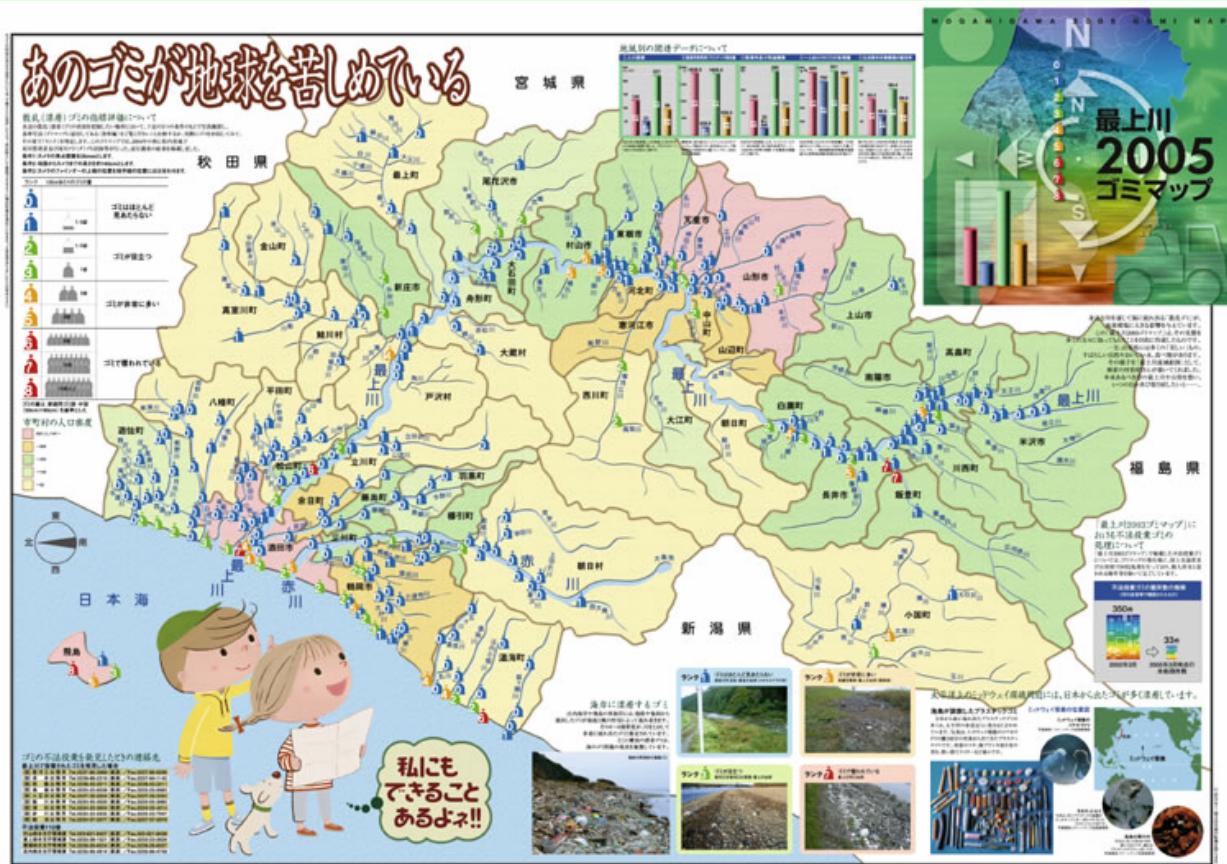
- (1)アダプトサイン(看板)の設置をします。
- (2)活動の広報に努めます。



事務局が設置する看板

最上川ゴミマップ

- ゴミ投棄の実態についての知識を共有し、効果的な対策に結びつけていくことを目的に、**ゴミ投棄の程度を地域ごとに示した地図**を作成し、図書館、公民館や小中学校に配布した。



マップ作成のための
清掃活動の様子

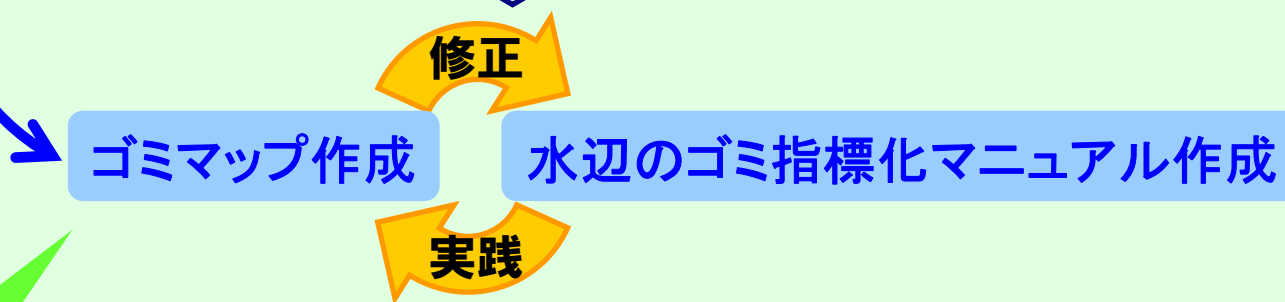
最上川ゴミマップ2005

最上川ゴミマップ

連携の状況

多
数の
市民
の
協
力
の
団
体

- 国土交通省山形河川国道事務所
- 山形県土木部河川砂防課
- 美しい山形・最上川フォーラム
- NPO パートナーシップオフィス



目的

- (1)各河川におけるゴミの現状と推移の把握
- (2)河川(海岸)愛護やアダプトプログラム等の活動評価への応用
- (3)ゴミの減量に向けた地域への情報発信に活用